

IFRS対応に必要なサービスとは —日立IFRS導入支援ソリューション—

IFRS元年に備えた動きが活発化しています。個別に特化したサービスへ目が留まりがちですが、俯瞰して考えると企業経営における長期的な取り組みが必要です。日立は、グループ各社と連携し『日立IFRSソリューションコンソーシアム』を組成し、お客さまのベストパートナーとして、長期に渡り皆さまの信頼にお応えしていきます。

IFRS対応作業に 取り組む前に

IFRS対応は、法・制度対応ではあるものの、企業の成績表ともいえる財務諸表に直接関係する会計基準などの変更が伴う点で、日本版SOX法への対応とは大きく異なります。また、IFRS自体の継続的な変更が見込まれ、将来に渡っての柔軟な対応が必要です。

企業の取り組みにおいては、対応範囲の策定や進め方、投資対効果（もしくは経営効率の向上）を高める実効的な施策など、対応項目の多さと必要となる人員（IT、経理部員）の確保に検討を重ねることになります。

IFRSは、企業財務へ直結するテーマであり、対応後には諸外国企業との財務諸表の比較が待ち受けています。早ければ2015年にIFRS強制適用が始まり、国際的な視点でいかに企業価値を向上していくか、企業の経営力が総合的に問われることとなります。

必要なのは個別サービスではなく、ビジネスパートナー

IFRS対応においては、IFRSをきっかけとして取り組まなければならない課題（国際的な物流網の点検、資産の持ち方の見直しなど）も継続的に多く発生するため、単に「ITシステムだけ」、「会計基準への変更対応だけ」といった個別事象の解決策だけを提示するサービスでは、IFRS対応は完結しません。

IFRSに直面した企業は、IFRS適用後をも見据えた経営戦略と整合性のとれたIFRS対応作業の策定・確実な実行が求められます。日立は、包括的かつ長期的に信頼されるビジネスパートナーとして、お客さまのIFRS導入を広範囲に支援し、新たな価値創造に貢献します。

日立が提供する IFRSワンストップサービス

日立は、お客さまのベストパートナーとして、さまざまなリクエストにお応えできるよう、グループ各社と共同で『日立IFRSソリューションコンソーシアム』を組成。IFRS導入検討企業が、初期段階で直面する主要課題「グループ会計方針の策定」「業務・システムへの影響度調査」「広範囲なシステム改修に対する適切なIT対応」「人材育成」などの不安を解消するIFRS対応エントリーサービスをはじめ、システム運用支援や将来のXBRL対応まで、広範囲なIFRS導入支援ソリューションをワンストップで提供します（図1）。

【主要なサービス紹介】

■IFRS対応エントリーサービス（IT部門向け）

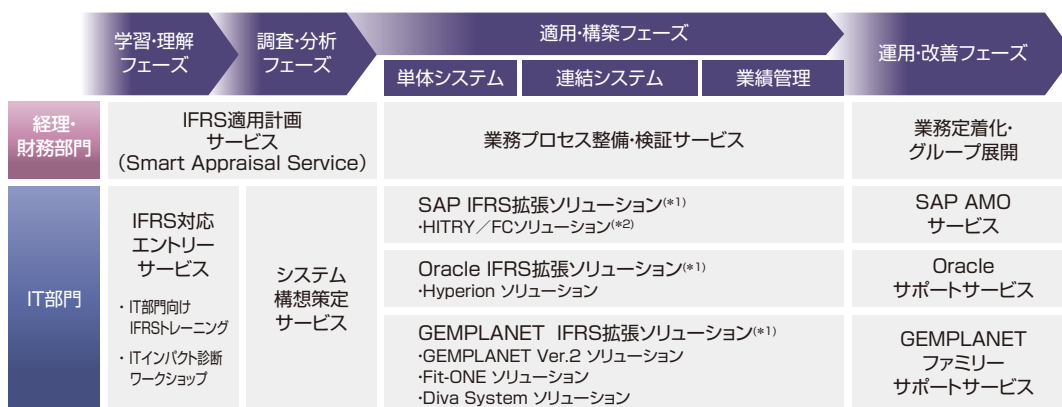
IFRSは、IT部門においても大きな課題であり、計画的な要員育成が求められます。さらには既存システムにおける課題整理（Fit&Gap）やコストイメージの把握が必要です。

日立は、製造・流通業において直面するIFRS上の課題に特化し、IT部門向けに論点・業務インパクト、システム要件を整理した500頁以上の独自テキストによる要員育成（IT部門向けIFRSトレーニング）を支援します。さらには、重点を絞って効率のかつ網羅的に分析できるワークシート群を活用して、IFRS適用によるITへの主要な影響ポイントとその対応のためのロードマップ、アクションプランを整理するシステム影響診断サービス（ITインパクト診断ワークショップ）を提供します。

■IFRS適用計画サービス（経理・財務部門向け）

IFRS対応は、非常に多くの領域にまたがった取り組みであり、どこからどのように着手していいかわからないという、根本的な業務課題に直面します。

図1 製造・流通業向け 日立IFRS導入支援ソリューション



*1 IFRS拡張ソリューション：IFRS適用に向けて現行システム・テンプレートの適用可否を調査し、改修・機能拡張を支援
*2 HITRY/FC(SAP® BusinessObjects™ Financial Consolidation対応)ソリューション
*3 上記ソリューションメニューは、今後順次拡充予定

日立は、実務的視点での論点整理とIFRS対応の検討エッセンスを加味し、かつ会計を中心としたさまざまなシステム構築経験を活かしながら、IFRS対応作業を構造化し、時系列に整理、可視化します。これにより、予算措置、人事異動などの準備を計画的に進め、円滑なIFRS導入を実現可能とします(図2)。

■IFRS拡張ソリューション、およびサポートサービス

人的リソースの問題と並行して、連結会計システムおよび関係システム連携という2つのITシステムの問題が立ちふさがります。連結会計システムの見直しは実行の中核をなすため、早期に安心したい重要項目の1つです。

日立は、SAP® BusinessObjects™ Financial Consolidationを日本企業向けに適

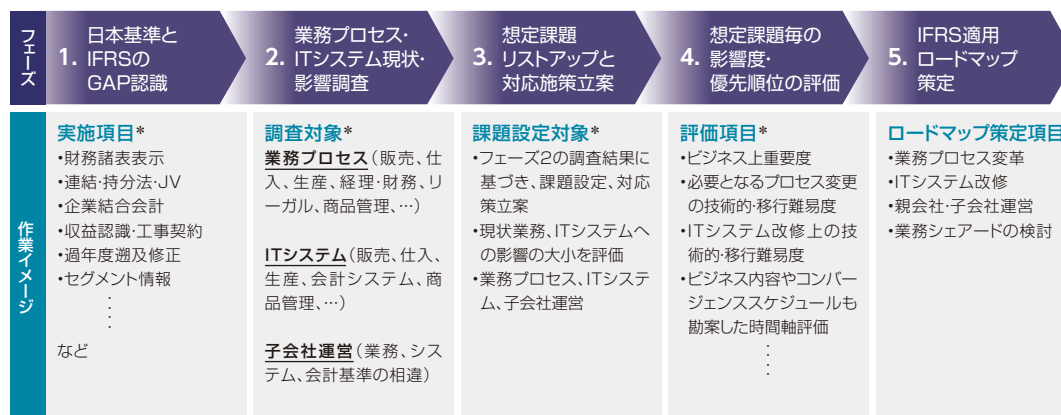
用するため、業界に先駆け、導入支援ドキュメントHITRY/FC(HITRY/Financial Consolidation)を開発・提供し、連結会計システムの早期構築を支援します。

また、日立は各種パッケージソフトウェア(SAP、Oracle、GEMPLANET、Fit-ONEなど)の数多くの構築・運用支援ノウハウがあり、グループ内での会計処理連携の知見も踏まえた、関連する業務システムとの円滑な連携の実現とシステム運用の不安解消を支援します。

日立IFRS導入支援ソリューションは、IFRSに対するお客さまの悩み・不安を解決し、円滑なIFRS導入とグループ経営基盤強化を支援します。

図2 IFRS影響度評価の作業イメージ

IFRS導入の影響評価は、会計基準の相違単位に業務プロセス・ITシステムについて実施し、優先化・重点化する必要がある



*実際の実施項目、調査対象、評価項目は個別の案件内容に伴い異なることがあります。

日立 IFRS 導入支援ソリューション
<http://www.hitachi.co.jp/ifrs/uv20/>